

平成 30 年 11 月 12 日

平成 30 年度ふれあい行事開催報告

行事名	野鳥と冬芽の観察会
主催（後援）	支笏洞爺国立公園管理事務所（共催：支笏湖ビジターセンター運営協議会）
開催日	2018年11月10日（土） 9：50～12：00
場所	休暇村園地（休暇村支笏湖前広場および散策路）
参加者	参加者 5名
行事の概況	紅葉シーズンを終え、すっかり葉を落とした木々が目立ち、少し寂しい感じがする支笏湖。しかし、樹木をよく観察してみると、来春の準備を始めています。毛皮を着たようなキタコブシの冬芽や羊の顔のように見えるオニグルミの葉痕等、種類によって大きさや形が異なる冬芽や葉痕に、みなさん興味津々。また、木々の間を飛び交うアカゲラや川で休んでいたカイツブリ等の姿も発見し、これから本格的な冬を迎えることを感じる一日となりました。

<活動の様子>



湖上にいる野鳥を観察中



キタコブシの冬芽



羊の顔のようなオニグルミ



キツツキの仲間のアカゲラ